

ネイティブフラボバクテリウム属クリエチナーゼ

Cat. No. NATE-0161

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

酵素学において、クレアチナーゼ (EC 3.5.3.3) は、次の化学反応を触媒する酵素です: クレアチン + H₂O ⇌ サルコシン + 尿素。したがって、この酵素の二つの基質はクレアチンと H₂O であり、二つの生成物はサルコシンと尿素です。この酵素は、ペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用する加水分解酵素のファミリーに属し、特に線状アミジンにおいて作用します。クレアチナーゼは、クレアチンと水分子をサルコシンと尿素に置換する反応を加速します。常にホモ二量体状態で作用し、塩化コリンによって誘導されます。

別名

クレアチンアミジノヒドロラーゼ; クレアチナーゼ; 37340-58-2; EC 3.5.3.3

製品情報

由来

フラボバクテリウム属

形態

凍結乾燥粉末

EC番号

EC 3.5.3.3

CAS登録番号

37340-58-2

活性

10-20 ユニット /mg タンパク質

組成

タンパク質、約75% ピュレット

緩衝液

リン酸緩衝液と乳糖を含む凍結乾燥粉末

単位定義

1ユニットは、pH 7.5、37°Cで1分あたり 1.0 μmole のクレアチンを尿素とサルコシンに加水分解します。

保管・発送情報

安定性

2-8°C